

靴やバッグなどの小物まで、紙で忠実に再現



マリー・アントワネット／ピンクとブルーの宮廷ドレス



ジャックドゥッセ ヘル・エポック期のウエディング(1903年頃のシルエット)



エリザベス1世／宮廷ドレス

©Andreas von Einsiedel

色とりどりの美しいドレスを、紙で表現する芸術「パピエ・ア・ラ・モード」の作品、約120点が一堂に展示される「パピエ・ア・ラ・モード『華麗なるペーパードレス・モード300年展』。11月10日(日)まで、大丸梅田店15階の大丸ミュージアム・梅田で開催されています。とても紙で作られているとは思えない、美しいフォルムやディテールを持ったドレスの数々。関西では初公開になるこの展覧会で、繊細で華麗なファッションの世界を、存分に堪能してみてください。

紙が織りなす、 美しいファッションの世界へ

主催/産経新聞社

11月10日(日)まで
「パピエ・ア・ラ・モード『華麗なるペーパードレス・モード300年展』開催

**時代を彩った
さまざまなドレスが登場**
ヨーロッパでは、各時代ごとに、さまざまな特徴のある、シルエットの華麗なドレスが、数多く登場してきました。
特に16世紀から19世紀の英仏アーティスト・レディたちが着こなした「ロイヤルファッション」は、「モールド」と呼ばれ、その豪華さが女性を魅了。色彩の美しいドレスたちが軽やかに舞っていた、夢のような300年間の「モード」に、現代のファッションシーンにつながるような、さまざまな流行が見られます。
同展では、「エリザベス1世(1533~1603)／宮廷ドレス」「ボン

女性たちが、いつの時代にも憧れを持ってやまない「ドレス」。幾層にも重ねられたレースやフリルなど、さまざまな装飾が施されたドレスは、見ているだけで心躍るもの。
そんなドレスの数々を、紙で表現したのが「パピエ・ア・ラ・モード」の世界。ベルギーの画家、イザベル・ドゥ・ホルクラウヴが、資料やサンプルをもとに、布の風合いや質感、模様を紙の上に手描きで表現。出来上がった作品を、カナダの衣装家、リタ・ブラウンが正確な時代考証のうえ、立体的なパターンに裁断し、紙でできたドレス

また、日本展のために特別制作された、市川猿之助が演じる「黒塚」の歌舞伎衣装も展示されます。
1998年にフランス・ミュルーズ染織美術館で初めて公開されて以来、ニューヨーク・ロンドン・トロントの美術館で展示され、世界の服飾評論家をはじめ、多くの人を魅了してきた「パピエ・ア・ラ・モード」。関西初の公開となる同展を、見逃さないで、世界に、しばし酔いしれてみよう。

皇后ジョセフィーヌ／レセションドレス



ボンパドール夫人／アフタヌンドレス

布をしのぐほどのリアルさを完成させました。
数々の歳月がかけられ完成した作品は、その文様と光沢の陰影までも、本物のシルが再現されています。

券を持参で

シティ読者は入場料金が半額に!

期間中、右の入場料半額券に必要事項を記入の上、窓口を持参すると、一般800円の入場料が400円に(税込み)。半額券は、一枚で本人を含む2人まで利用可。お友達を誘って出かけてね。

期間 11月10日(日)まで
入場時間 午前10時~午後7時30分(8時閉場)、最終日は午後5時30分まで(6時閉場)。期間中無休
入場料 一般800円(税込み)
主催 産経新聞社
問い合わせ ☎06(6343)1231

「パピエ・ア・ラ・モード」入場料半額券
一般800円を400円に(税込み)
同時入場2人まで

氏名 _____
〒住所 _____

※会場/大丸ミュージアム・梅田、主催/産経新聞社。
11月10日(日)まで有効。